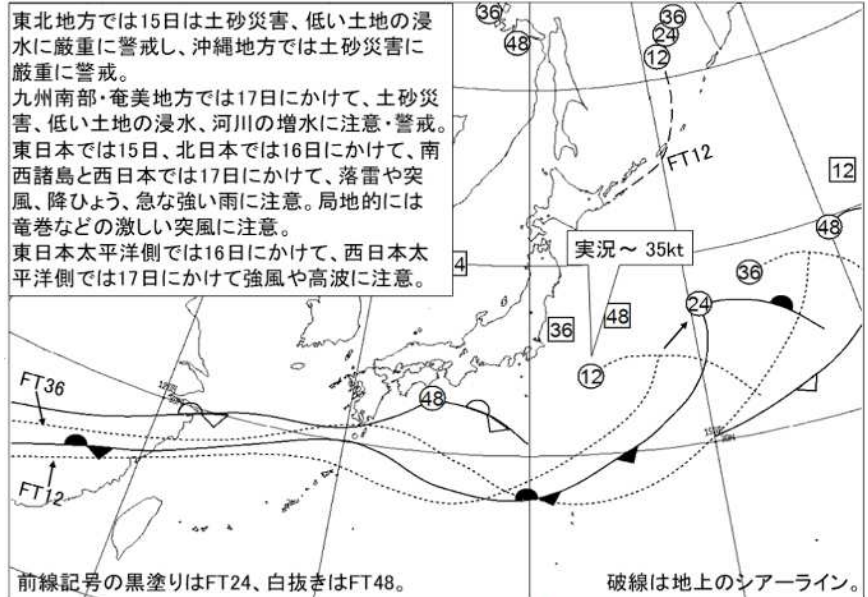


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5820m付近の強風軸に対応する前線が東シナ海から日本の南にのびており、前線上の低気圧が関東の東を東北東進。また、東シナ海ではこの前線に向かって下層暖湿気が流入しており、15日09時の石垣島の高層気象観測では850hPa θ e345K以上を観測。南西諸島では雷を多数検知。
- ② 500hPa 5760m付近には-12°C以下の寒気を伴ったトラフが本州付近を通過しており暗域が明瞭。東北地方を中心に対流雲が発達し、雷を伴って非常に激しい雨を解析。

東北地方では15日は土砂災害、低い土地の浸水に厳重に警戒し、沖縄地方では土砂災害に厳重に警戒。
九州南部・奄美地方では17日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。
東日本では15日、北日本では16日にかけて、南西諸島と西日本では17日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
東日本太平洋側では16日にかけて、西日本太平洋側では17日にかけて強風や高波に注意。



主要じょう乱解説図

- ③ オホーツク海には500hPa 5640m付近の寒冷渦に対応する低気圧があつて北北東進。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、15日夜までに閉塞し16日にかけて日本の東へ進む。一方、南西諸島付近の前線は太平洋高気圧の強まりにより17日にかけて北上し、前線に向かって流入する下層暖湿気が西から次第に強まる。また、17日はこの前線の四国沖付近で低気圧が発生し本州の南岸付近を東北東進する見込み。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降って大雨となる所がある。沖縄地方では15日は土砂災害に厳重に警戒し、九州南部・奄美地方では17日にかけて土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。
- ② 1項②の寒気を伴ったトラフは、16日朝にかけて西日本から北・東日本を通過。上空寒気その他、日中の気温上昇の影響も加わるため、大気の状態が不安定となる見込み。東日本では15日は、北日本では16日にかけて、南西諸島と西日本では2項①の要因も加わるため17日にかけて落雷、突風、降ひょう、急な強い雨、局地的に竜巻などの激しい突風にも注意。
- ③ 1項③の低気圧からのびるシアーラインが15日夜にかけて北海道地方を通過。寒冷渦周りの500hPa 5700m付近の-15°C以下の寒気を伴ったトラフ通過と、千島の東に中心を持つ高気圧後面からの下層暖湿気の影響も加わるため、北海道地方では大気の状態が不安定となる所がある。北海道地方では15日は落雷、突風、降ひょうに注意。
- ④ 1項①の低気圧や前線の周辺では強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。東日本の太平洋側では16日にかけて、西日本の太平洋側では17日にかけて、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(18時から24時間) : 九州南部 150、沖縄130、奄美120mm。

② 波浪(明日まで) : 伊豆諸島 4、関東・東海・近畿・四国・九州南部 3m。

5. 全般気象解説情報発表の有無 発表の予定はない。